



# NEWS STREAM

TETSUDO

遠山鉄工所代表社員てつお君の  
ニュース番組へようこそ

vol. 4 2020 12

発行元：株式会社遠山鐵工所  
Tel.0480-85-2111(代表)

出前教室 (日本ダクタイル異形管工業会)

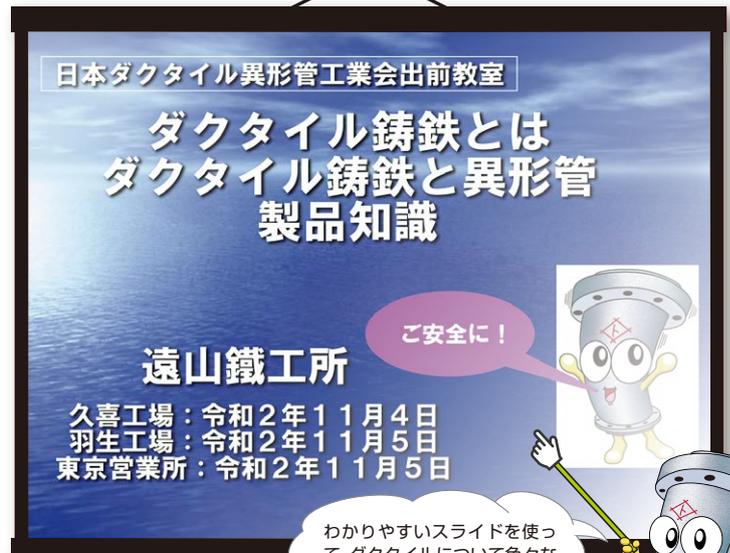
- ・ダクタイル鑄鉄とは
- ・ダクタイル鑄鉄と異形管
- ・製品知識

{ 2020. 11.4 久喜工場  
11.5 羽生工場・東京営業所 }

## 「ダクタイル鑄鉄」の出前教室

遠山鉄工所の主力製品の知識を深めたよ

11月4～5日、生産性の向上や社員教育のために、日本ダクタイル異形管工業会から講師を招いて出前教室を開催したよ。講義内容は、「金属の歴史」「管路の基礎知識」「異形管の種類」「継手の変遷」などなど。計85名(久喜工場・62名、羽生工場・14名、東京営業所・9名)がじっくり学んだよ。



わかりやすいスライドを使って、ダクタイルについて色々な視点から解説してもらったよ

### 受講者の感想

有圧の為に衛生面が確保されている事を初めて知った。工業用水で飲料水を作っていた事を知って驚いた。(鑄造部鑄造課)



異形管の種類とその使用目的を初めて知った。使用目的を知ってより良い製品を作らなければならないと思いました。(鑄造部鑄造課)

使用目的(フランジ付T字管、排水T字管)を改めて知ることが出来て良かったです。また接手の名称の由来は初めて知ることが出来て知識として役に立つと思いました。(製品部製品課)

会社で製造しているダクタイル鑄鉄異形管が、どこで、どの様に使用されているのか理解できました。また、製品の種類や継手についても使用目的がわかりとても参考になりました。ありがとうございました。(管理・総務部)

異形管の歴史、世の中にどれだけ役に立っているかを知り自分達の仕事に誇りを持たせた。今後も社会に貢献していきたい。(製品部製品課)



管の種類や鑄鉄について、とても分かりやすく教えていただきとても勉強になりました。ラインに欠かせない当社の製品が社会のお役に立っている事がわかりとても良かったです。ありがとうございました。(鑄造・製品事務)

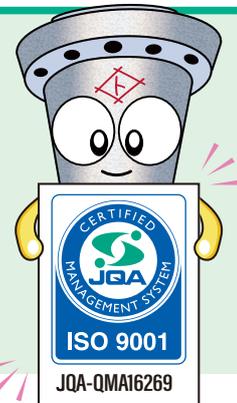
入社当時の研修を思い出しました。忘れていた事もありましたので良い機会となりました。新入社員が入った際にも個別での指導をお願いしたいです。ありがとうございました。(営業部営業課)

継手の名称について、どうしてA形～NS形という名称になったのか知識がなかったが、本日の講習で理解出来た。わかりやすい説明でとても勉強になった。(品質保証部品質保証課)

これからも大事なインフラとして守っていきたいね。



# ISO規格を取得しました



2020年9月24日、遠山鉄工所はISO9001を取得したよ。ISO9001とは、世界中で同じ品質、同じレベルの製品やサービスを提供できるようにするための国際的な基準(ISO / 国際標準化機構 が制定)のこと。取得したら終わりではなく、取得時に決めたマニュアルを継続したり、チェックしてもらうことによって、お客様により満足してもらえるものづくりができるんだ。



# 1

check  
製品の選別方法



▶ 製品が迷子になることがないかを確認。

# 2

check  
完成品の検査状況



▶ 正しい検査が実施されているか確認。

# 3

check  
作業手順



▶ ルール通りに作業が行われているか確認。

# 4

check  
品質目標



▶ 自分たちで掲げた目標の進捗状況を確認。

# 5

check  
会社の品質方針



▶ 従業員に会社の方針が浸透しているか確認。

# 6

check  
保管状況



▶ 記録類の保管状況の確認。



この規格を活かしてこれからも高品質な鉄管を作っていきたいね

## ISO取得のエピソード



サブリーダー

製品部長  
三好さん

### 社員全員が会社を回すことへの実感を得ながら働けることそして成長することが可能に

私は遠山社長(リーダー/当時)の号令のもと、サブリーダーに着任しました。ISOは今回2度目の取得で、初回取得時(2008年)から、更新された規格に合わせて社内文書を見直しました。大元のマニュアル・社内規定・作業標準、それらを全て見直したので1年近くかかりました。その後、変更した規格に合わせて工場を実際に稼働し、その記録を残していきました。特に大変だったことは、従業員の風土を変えることでしたね。でも、まとめ役になったことで自分自身の成長につながり、スキルアップしたと感じます。やっている間は辛いことやうまくい

かないこともありましたが、外部の優秀なコンサルタントに入ってもらったことで、社員ひとりひとりが「全体で会社を運営している」という実感を得ながら、それぞれが大きく成長することができたと思います！これからは、皆でPDCAサイクルを回しながら、「更にもっと良いルールはないか」ということをいつも考えてやっていきたいと思います。会社の仕組みをより良くして、製品の品質を上げていきたいと思います。

### 3年後の更新審査を目指してリーダーとして皆を支えていきたいです

2008年版のISO取得時に取りまとめ役だったこともあり、今回の再取得後、リーダーを引き継ぎました。以前は社員全員というよりは品質保証課だけが関わっており、日々記録を取る等のルールはあまり浸透していませんでした。しかし、今はISO基準がバージョンUPし、以前よりもさらに勉強し、しっかり運用しなければという責任感を感じています。メンバーは6つの部署から1名ずつ+コンサルタントで運用中です。会社の組織も変わったので、ルールの見直しや各人のレベルアップも必要です。取得後の業務内容は、毎月ミーティング開催通知・内容の決定・社長へのミーティングの結果報告等。先日の1回目のミーティングでは、更新審査までの計画を社長に確認後、メンバーから各部署に浸透させました。目標は、まずは取得している状態の維持ですね。1年ごとの定期審査や3年ごとの更新審査を見据え、皆で意見を合わせ良い雰囲気やっていきたいと思います。私はあまり前に出ていくタイプではないので皆のサポートを後ろからしっかりできるようなリーダーを目指しています。



リーダー

営業部  
生産管理課長  
遠山さん